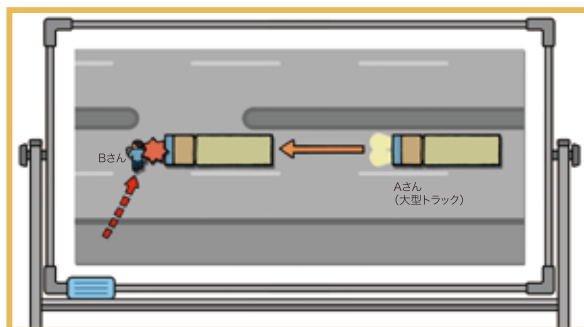


事故事例をもとに安全運転のポイントを紹介。社内での安全運転活動にお役にたください。

事故に至るまでの状況

Aさん(男性、大型トラック、40代)は、まだ暗い早朝4時ごろ、中央分離帯のある往復4車線道路を走行していました。交通は閑散としていたのですが、たまにすれ違う対向車があるためにライトは下向きにしたままでした。突然、目の前に横断中のBさん(男性、歩行者、20代)を認めて、急ブレーキをかけたのですが間に合わずに衝突。Bさんは20mほど跳ね飛ばされ、頭部を損傷して亡くなりました。

事故現場略図



事故の原因

Bさんは、今回の事故の前に自損事故を起こしていました。誰かと連絡を取っていたのか、携帯電話を使用しながら横断していて、事故に遭ってしまったのです。

Aさんも朝早くて交通が閑散だったこともあり、つい

制限速度をオーバーして走行していました。また、誰もいないだろうと勝手に思い込み、ライトも上向きにせず、ポーッと速くを見て走行していたため、手前を横断中のBさんに気が付くのが遅れました。

安全運転に向けて指導のポイント

夜間、早朝は交通が閑散なので、つい速度を出しすぎてしまいがちです。今回のように、暗い路上に歩行者がいるかもしれないと考えましょう。つねに、前方を

注視し、対向車がないときはハイビームに切り替えるなどして路上の歩行者を見落とさないように心がけてください。また、速度の出しすぎには注意しましょう。

今月の安全メモ!

- ・つねに前方を注視し、対向車がないときはハイビームに切り替えよう!
- ・速度の出しすぎに注意しよう!